

事業所名 放課後等デイサービスここ

公表日 2026年 6月 9日

		チェック項目	はい	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	0		・体が大きくなってきた子が多いので、日によっては少しせまさを感じることもあります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	5	0	・配置基準は満たしている ・配置数は適切である	・配置基準は満たしているが、こども達の特性等考えた時、もう何人か人員が必要だと思ふことが多々ある ・配置数は適切であるが、もう1～2名人員が多いと良いと思う ・長期休みや急な職員の体調不良の時に必要かなと思う ・日による。その時によっては対応に追われる人員数によって現場が手薄になりがち ・利用人数だけでなく、利用者の方へのサポート内容によって職員不足を感じることもある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	0	・視覚的に分かりやすい提示がされ、駐車場から建物内、教室への移動もしやすい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	0	・毎日そうじ、消毒、整理整頓を行っている。 ・毎日、そうじをしている ・毎日の清掃・定期的な大掃除・設備の点検を行い、衛生・安全な場を心がけている	・体が大きくなってきた子が多いので、日によっては少しせまさを感じることもあります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	0	・静養室があり、体調不良時・1人になりたい時・集中したい時・クールダウンが必要な時など、使用することができる ・静養室やパーテーションを、必要に応じ使用している。 ・静養室やホール等を使用している ・（静養室） ・静養室の利用目的と方法を理解してもらいながら、必要に応じて使用し、使用中・使用後のフォローを行っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	1	・毎月、職員会議や他事業所との合同会議を行い、それ以外でも必要に応じ、会議や話し合いの場を設けている ・計画案の確認や、定期的に行われるモニタリング、必要に応じてケース会議を行っている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	2	・評価表にて保護者等の意向等を把握する機会を設け、話し合い等行っている	・評価表にて保護者等の意向等を把握する機会には難しいケースもある
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	1	・意見がある時は聞いてもらえる機会はある	・意見がある時は聞いてもらえる機会はあるが、業務改善につながっているかは何とも言えない。
	9	第三者による外部評価(※)を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3	4		・「第三者による外部評価」が何をさしているのかわからないので、答えようがない。 ・わかりません ・今年度はなかった (※第三者による外部評価:都道府県の認証を受けた中立的な民間の第三者機関から、サービスの質を客観的に評価してもらう仕組み)
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	1	・毎月、社内研修を行っている ・外部研修の参加、社内での研修を受講することができている。 ・毎月、研修をしている	
	11	適切に支援プログラム(※)が作成、公表されているか。	7	0	1	・ホームページで公表している ・ホームページに公表されている ・ホームページにて公表している	(※総合的な支援の推進と、事業所が提供する支援の見える化を図るため、運営基準において、5領域(「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」と)の関連性を明確にした、事業所における支援の実施に関する計画)
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	0		

適切な支援の提供	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	0	・利用者個人個人の現状などをふまえ、モニタリングや日々のミーティングで意見を交換し、検討されている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	1	・必要時行っている	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	0		
適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	2	・通常個別で行っているが、必要時チームで行っている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	1	・同じ活動でも、ルールや使用する道具を変えるなどして工夫している ・活動の種類は色々あり、新しい活動やイベント等まぜながら行っている。その日その日の利用者に合わせ、考えている。 ・各職員が工夫して行っている ・ルールなどを変えたり、使う物を変えたりしている。 ・応用などをしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	0	・ミーティングを行っている ・利用者受け入れ前には必ずミーティングを行っている。その日その日のメンバーにより、送迎車や来所後の支援（座席や個々の状態）を話し、予想されることを注意し合い、連携がとれるよう心がけている。 ・必ずミーティングを行い、情報共有している ・毎日、ミーティングを行っている ・毎日ミーティングを行い、支援がスムーズに進められるよう、共通理解を深めている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	0	・場合によっては、翌日や職員用の連絡ノートで情報共有している ・緊急性の高いことや当日中に共有すべきことは当日中に行っているが、当日中難しい場合は翌日に共有したり、ノートに申し送りとして記入し、全員が共有できるようにしている ・支援終了後のミーティングが難しいため、記録に残し、翌日のミーティングにて共有している ・連絡ノートに書いたり、職員同士で情報の共有をしている ・打ち合わせに代えて、連絡ノートや口頭での情報共有を行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	1	・提供記録、業務日誌、連絡ノート、特記などで記録をとり、情報共有を行い、支援につなげている。 ・必要時振り返り、活用している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	0	・隙間時間を活用し、職員間での支援の進捗・課題についての意見交換を行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動(※)」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	0	0		(※放課後等デイサービスでは、厚労省のガイドラインに基づき「自立支援活動」「生活能力向上活動」「創作・表現活動」「地域交流活動」の4つを基本活動としている)
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	0	・ケースバイケースで対応している	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1	1	・サービス担当者会議はないが、定期的に情報共有を行っている(必要時開催している)	

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	1	・必要時連携をとることができる	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	0	・送迎時など、必要に応じて情報共有を行っている ・学校送迎時に学校の先生方からその日の様子や予定など、情報をいただいている。また、こちらでの様子も共有し、情報交換（必要な部分）を行っている。 ・学校へ年間行事の共有は行っていないが、必要時連絡をとっている ・学校のお迎え時に、先生と情報共有をしている ・送迎時に先生たちと情報共有を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	2		・対象者なし ・わかりません ・今のところいない
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1	1	・提供の要求がなかった ・同じ会社内の他事業所へ移行の際には情報共有を行っていた。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	3	・研修は日程により難しいが、連携はとれている ・ロザリオの研修へ参加	・連携はとれていると思うが、具体的なことはわからない。 ・わかりません
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	3	1	・放課後児童クラブ、児童館との交流はなかったが、他の放デイの子どもの交流はあった ・昨年、他の放課後等デイサービスと合同イベントは行った。 ・昨年夏、他事業所との交流を行った ・今のところ交流はしていない ・昨年7月にイベントを行った。秋祭りなど	・放課後児童クラブ、児童館との交流はなかったが、他の放デイの子どもの交流はあった
	33	（自立支援）協議会（※）等へ積極的に参加しているか。	4	2	2	・代表が参加している	・わかりません （※（自立支援）協議会：地域の関係者が集まり、地域における課題を共有し、その課題を踏まえて、地域のサービス基盤の整備を進めていくこと及び関係機関等の連携の緊密化を図る役割を担っている）
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	0	・送迎時、または連絡ノートや電話にて状況を伝えあい、場合によっては面談をして共通理解を持つようにしている ・送迎時や連絡ノートでのやりとりに加えて、必要時面談等を行っている。 ・送迎時、必要時、話し合っている ・お迎え時、送迎時に保護者に伝えている ・送迎時、連絡ノート等で情報共有等を行っている ・連絡帳やSNSの活用、送迎時の対話・面談を通して、ていねいな保護者との情報交換と情報共有を心がけている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）（※）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	6	2		・行えていないと思う。難しいと感じている。ペアレントトレーニング等を行える自信がないし、どうやってやっていけば良いかわからない。 ・わかりません ・検討はしているが、今のところ実現できていない （※家族支援プログラム：障害児の家族に対して相談援助や情報提供、心理的サポートを行うことを目的としたプログラム。「ペアレントプログラム」「ペアレントトレーニング」「ペアレントメンター」などがある）
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	0	・変更等がある際には、保護者へ説明を行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	0	・必要時、送迎の際、または面談にて確認している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	0	・児発管から説明をさせてもらっている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	0		

保護者への説明等	40	保護者会等の活動の支援や開催等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	6	1		・2026年度、やりたいと考えている ・行えていない。難しいと感じている ・検討しているが、実現に至っていない
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	0	・2025年度、苦情はなかったが、あった場合には、適切な対応がとれる体制を整えている。また、苦情がこないよう、利用者さんにも保護者さんにも気持ちよく利用してもらえよう、普段から気を付けている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	0	・2025年度には、インスタに加えマチコミの使用も開始し、利用頻度に関わらず同じタイミングで情報がいきわたるような体制を整えた。 ・令和7年度より、インスタグラムを開始し、定期的な更新がされている。 ・インスタで活動の様子や行事などを発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	0	・研修に参加し、必要性を理解している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	0	・同じ内容でも、人によって伝え方（言いまわしやタイミングなど）を考え、一番伝わる方法を常に模索している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	1	0	・9～10月頃に、秋祭りを開催し、地域住民や保護者さんにも声をかけている ・秋祭り	・今年度は秋まつりが開催できなかった ・昨年、秋まつりは悪天候のため中止となった
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	2	0	・マニュアルの家族への周知以外はできている。 ・マニュアル類は職員への周知はされているが、家族へは行われていないと思う。避難訓練は定期的に行っている ・各マニュアル策定済。必要時更新している。訓練後は、参加者の連絡帳にて記載して周知している。	・マニュアルの家族への周知以外はできている。2026年度は、マチコミを使って周知したいと考えている ・職員は研修で周知しているが、家族等に周知されているかわからない ・家族への周知不足あり
	47	業務継続計画（BCP）（※）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	0	・今年度も訓練を行った	（※業務継続計画（BCP）：大災害や感染症などの予期せぬ状況下でもサービスを継続し、迅速に復旧するための指針）
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	1	・投薬依頼書を記入してもらい、合わせて服薬説明書のコピーをいただいている。予防接種の状況も毎年情報をいただくよう声かけしている。 ・薬を飲む時や塗り薬などは、投薬依頼書に記入している	・わかりません
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	3	2		・現在、ここにアレルギーのある利用者さんはいない ・アレルギー児なしの為わかりません ・対象者なし ・今のところいない ・いない
	50	安全計画（※）を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	2		・わからない （※利用者の安全を確保するために、設備点検や職員研修、緊急時対応訓練などを計画的に実施するための計画書。年度ごとに見直し、実行可能なものへ更新している）
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	3	1		・2026年度は、マチコミを使って周知したいと考えている
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	0	・必要時には、都度ミーティングを行い、対策を考えている。 ・ヒヤリハット案件の際は、ヒヤリハット報告書を作成し、共有し、再発防止の話し合いを行っている。 ・発生時、行っている ・ヒヤリとした出来事があった際は、速やかに発生時の分析と対策が話し合われている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	1	・研修があり、参加している ・研修で、知識や対応などを学んでいる	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	1	1	・必要時には、保護者さんに説明し、同意を得るようにしている。（2025年度、該当者なし） ・現在対象者なし。身体拘束に関する研修は行っている	